

# 町長の行政報告



池田町長

## 平成28年度一般会計 決算の特徴

歳入総額は132億8674万8000円、歳出総額は128億4100万3000円で、繰り越すべき財源を差し引いた2億9812万9000円の黒字となった。財政指標は、経常収支比率が91.9%、実質公債費比率は8.4%となった。

主な施策は、南海トラフ地震対策関連として耐震改修事業や、耐震診断及び耐震改修への補助金など防災の推進を図った。地方創生関連では、菊池学園による取り組みや結婚・妊娠・出産・子育てへの支援の推進をするともに、雇用創出

に向けた取り組みや移住促進も進めた。また、集落活動センターの施設整備など中山間地域の活性化を図る取り組みも進んでいる。

## 第2子以降保育料・幼稚園授業料無料化へ

第2子は、現行制度で半額の世帯は無料に、それ以外の世帯は半額負担にする（同時入所ですでに半額の世帯は、半額のまま）。第3子以降は、現行制度で3歳未満まで無料のところを就学前まで無料にする。平成29年12月からの実施を考えている。

## 国保制度改革に向けた県との協議状況

平成30年度から県が財政運営の責任主体となることにより、県が算定する各市町村の標準保険料（税）率の算定方式を所得総額・被保険者総数・世帯総数で按分

する3方式に決定し、国保事業費納付金の市町村への配分方法についても3方式となった。

## 伊野浄水苑と天王地区汚水処理施設の統合計画

天王地区汚水処理施設が公共下水道に編入することにより、施設の改築費用を国庫補助対象にできることなど、改築費用の大幅な縮減が図られる。また、災害時には県内他市町村や各種機関から、支援を受けることが可能となる。

## 認定こども園について

「幼保連携型認定こども園」を枝川・吾北の各幼稚園及び保育所で検討を考えている。認定こども園は、幼稚園及び保育所の機能を併せ持ち、年齢によっては保護者の就労の有無にかかわらず同一施設に在籍可能となることから、保護者の多様なニーズに対応する。

## 町道戸中線戸中橋について

橋梁の上部工と下部工に設置してある支承の破損は、右岸側の地滑りが原因と考えられるため、平成29年6月から平成30年1月まで右岸側の地質調査により原因を特定し、平成30年度に詳細設計業務を、平成31年度に補修対策工事の実施を予定している。

## 石鎚山系連携事業などの山岳観光について

「山荘しらす」については、早期のリニューアルオープンに向け、山岳観光の拠点として施設改修に向けた検討会を行っている。

## 超高速ブロードバンド未整備地域について

現在、町職員による検討会を立ち上げている。運用開始には、地域住民の皆さんに一定数加入（月額数千円）してもらうこと、億単位の整備費用への財源確保や、赤字の場合の補填に伴

う将来への負担などの課題がある。

## こども食堂について

当町においては、平成29年8月に食生活改善推進員を中心とした有志が企画した「みんな笑顔（スマイル）こども食堂」が開催され、9月からは月1回土曜日に開催予定と聞いている。町としては、「高知家子ども食堂登録制度」への申請、補助金申請のサポートをしている。

## 前町長に対する損害賠償請求について

前町長に損害賠償を求める住民訴訟に対する高松高等裁判所の平成29年3月16日判決に対し、町及び補助参加人である前町長が平成29年3月28日付で上告受理申し立てを行い、平成29年8月30日付で最高裁判所より不受理の決定がなされた。これを受け、町として前町長個人に対し損害賠償請求手続を進めていく。